

クローズアップ

障がいがあっても、気軽に外出できれば世界は広がる

12月3日から9日は「障害者週間」です。「障害者週間」は、みんなが障がい者福祉についての関心と理解を深め、障がいのある人が社会、経済、文化その他、あらゆる分野の活動へ積極的に参加する意欲を高めることを目的として、定められています。

今回は、先天性の脳性まひで下肢に障がいがあり、両親と一緒に「福祉有償運送」を営まれている「NPO法人いなほ」理事長の野中和哉さんにお話をうかがいました。



「NPO法人いなほ」の野中和哉です。もし見かけたら声をかけてください

障がいがあると電車やバスでの移動が大変

―「福祉有償運送」とは何ですか？

障がいのある人や高齢者は、電車やバスでの移動が大変です。そこで、介護タクシー券をお持ちでない人のために、NPOや社会福祉法人などの非営利団体が、高齢者や障がいのある人があまり負担のかからない形で移動できるように、移送サービスを安価で提供しています。これを「福祉有償運送」といいます。もとは、無償のボランティアで始めて、送迎のお礼として、野菜をもらったり、ガソリン代をいただいたりしていたと聞いています。

―始められたきっかけは？

障がいのある人の相談支援や外出を企画する仕事をしていたとき、「移動手段がないために外出ができない」という話を聞いたのがきっかけです。私自身も障がいがあり、長距離が歩けない不便を感じていました。安価での送迎サービスが必要だと思ったんです。早速、すでに福祉有償運送をやっていた事業所で半年ほど学び、自信が持てたのでやってみることにしました。



スロープがついているので、車いすに乗ったまま安心して乗り降りができます

やりたいことができる私は幸せ者

―ご両親は、なんとおっしゃいましたか？

話をしたときは驚いていましたが、平成23年12月にNPO法人を設立するまでの準備段階から、両親は全面的に協力してくれ、私は幸せ者だと思いました。特に父は、公務員を早期退職して、活動を支援してくれています。

それから福祉有償運送運営協議会に対してプレゼンテーションを行い、起業の思いを伝え、福祉有償運送の許可を取り、平成24年5月から営業を開始しました。

私が電話で受付をし、両親が2台の車で送迎をしています。

安心して乗っていただけるように

―受付で気をつけていることは？

どんなに急いでいるときでもきっちりお聞きするように気をつけています。聞き間違いや聞き漏らしがあっても大丈夫です。何度か聞き直すことになっても、正確に聞き取るように心がけています。電話の対応がゆったりしているから、安心してと言ってくれる人もいますよ。―やりがいを感じる時は？

一度乗ってくださった人が、また利用したいという気持ちになって、次の予約を入れてくださるのが嬉しいです。初めて利用される人は緊張しておられますが、2回目からは親しみを感じてくださるようです。一度車に乗ってみて、安心されたからでしょう。お会いしたことはなくても、電話の声でわかります。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」の精神で

―運営は、うまくいっていますか？

最初の頃は、5~6名しか利用がありませんでしたが、今では予約がいっぱいでお断りすることもあります。私自身も乗りたいたいときがありますが、空きがないので、よその車に乗っているくらいです(笑)。

やはり、両親が安全運転を徹底し、利用者さんから少しずつ信頼を得ていったことが今につながっていると思っています。

―これからやりたいことは？

まず今の仕事を一生懸命やること。私は「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という言葉が好きなんです。順調に事業が進んでいるのは皆さんのおかげという気持ちを忘れず、利用者さんが「自分の家族の車に乗っている」ような気持ちで、安心できるサービスを提供したいと思っています。

将来的に、今の仕事とは別に、自分とは違う障がいのある人、例えば精神に障がいのある人も働くことができる事業所を始められたらと思っています。



市販のミニカーに美和さんが加工して「いなほ」の車を作りました。ちゃんと車いす用のスロープもついています。自宅兼事務所に飾っています



野中さんは城東区地域自立支援協議会のメンバーです。「障がい者が地域でくたくたに生活できる支援体制を創っていくこと」について関係者が協議し、課題など情報を共有し、官と民が連携を図るため毎月1回話し合いを行っています

父 美和さん

息子がやりたいことをする第一歩なので、応援してやろうと思いました。ドライバーの立場としては、事故のないよう安全と安心に注意を払っています。乗り降りするときや走行中の事故防止には、気をつかいます。

もう一つ、時間に遅れないことにも気をつけています。5分前精神を大切に、できるだけ5分前にお迎えに行けるよう心がけています。どうしても無理なときは、早めに電話をして「2~3分前になります」とか「ギリギリになります」とか、必ずお伝えするようにしています。



母 法子さん

私もこれからの人生、福祉支援に携われたらいいなと思っていました。でも専業主婦からの転身なので正直、不安もありました。

車の運転は事故のないよう神経を使っています。それと同時に5分でも10分でも、皆さんのお話を聴きする時間を大事にしています。利用者さんとのふれあいが楽しくて、いろいろと勉強させてもらっています。車って特別な空間なんですよ。今では、この仕事が生きがいになっています。



野中さんの両親が運転する2台の車で送迎をしています

利用者 佐藤麻美さん

電話で野中さんとお話したとき、とても親切にいただき、安心できました。月曜日から金曜日まで、作業所に通うために行きも帰りも「いなほ」を利用しています。とてもリラックスできるし、安心して乗れるんです。ドライバーの法子さんとは、音楽を聴いたり、一緒に歌を歌ったりしています。それがとても楽しくて、「いなほ」の車に乗ることが、私にとって楽しみの一つになっています♪



一緒に歌を歌って、私もストレスの発散になっています!

今月の表紙

「NPO法人いなほ」理事長 野中和哉さん

先天性の脳性まひで生まれつき足が不自由ですが、それは形だけのこと。健常者の人と一緒に遊びながら育ち、周りの人に恵まれていたと思っています。

「いなほ」を利用した皆さんが喜んでくださるのが一番。この車を利用して外に出られるようになりましたと聞くと、とても嬉しいです。



CONTENTS

- 2 **クローズアップ** 障がいがあっても、気軽に外出できれば世界は広がる
- 4 **トピックス** 歳末警戒実施中／ピックアップ区政会議No.16
- 5 **お知らせ** 区役所の年末年始のお休み／年末年始のごみ収集日程／区政運営に関する区民アンケートへのご協力をお願い／固定資産税についてのお知らせ／都市計画案説明会
- 6 **健康** COPDの危険度チェック／市民医学講座「知っ得! 医学情報」／酒害教室／グループワーク(社会復帰相談指導)／予防接種・結核健診・各種がん検診等の日程
- 8 **相談** 城東区役所での専門相談／市民法律相談/各種相談
- 9 **イベント講座** 成人の日記念のつどい/ミニ・マラソン大会/ふれあい交流区民文化のつどい/わくわく子育てクリスマスコンサート/ヒューマンライツ・ファミリーシアター/はぴマルクレオ/開運なんでも鑑定団 ~出張! なんでも鑑定団in城東~
- 12 **施設だより** 区民ホールの催し物/城東図書館の催し物/子ども・子育てプラザの催し物
- 13 **城東区通信** 奥野区長のふるさと魅力再発見/地域活動協議会/シリーズ・子育て支援施設
- 14 **おおさか掲示板**



城東区マスコットキャラクター「コスモちゃん」

モクレン 城東区の花 コスモス